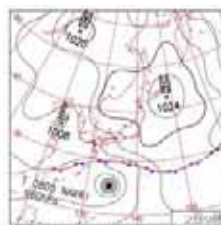


- ・2日～3日、梅雨前線の影響で九州南部大雨。総雨量319.5mm/2日。
- ・11日、梅雨前線の影響で九州大雨。熊本県西原村319.5mm/2日、阿蘇市302mm/2日など。
- ・29日、梅雨前線の影響で東～西日本で大雨。高知県高路村302.5mm/2日、宮古市311mm/2日などを記録。

(気象庁予報部予報課)



**1日(日)台風第5号北上**  
本州付近は曇れ晴れ。沖縄地方は、梅雨前線の影響で曇りや雨の天気。日本の南海上を北上する台風第5号の影響で、大東島地方でうねりを伴い波が高まる。



**2日(月)関東甲信地方梅雨入り発表**  
北日本は沿岸部の霧を除きおおむね晴天。台風第5号の接近に伴い梅雨前線が北上。近畿地方、東海地方、関東・甲信地方に梅雨入り発表。鹿児島島で日降水量203.5mmを記録。



**3日(火)台風第5号温帯化**  
南西諸島や関東東部の影響で終日雨。西日本の雨雲は昼間に抜ける。北海道は晴れ。台風第5号は、八丈島に接近後温帯低気圧に。八丈島の最大瞬間風速は30.7m/s。



**16日(月)鹿児島で大雨**  
九州南部に停滞する梅雨前線が活発化。鹿児島島中種子町中種子では、68mm/hの非常に激しい雨。北日本は低気圧の影響で曇り。東日本、近畿、中国は晴天が続いた。



**17日(火)沖縄に夏到来**  
九州は南海上に梅雨前線が停滞し曇りや雨。その他の地方は高気圧に覆われおおむね晴天。太平洋の高気圧が勢力を強め沖縄地方の梅雨明けが発表される。



**18日(水)西は雨・曇り 東は晴れ**  
北日本や関東は穏やかな晴れ。西からの暖気が流入した沖縄、九州、山陰の沿岸部などで真夏日。西日本や東海、北陸は前線や高気圧縁道の曇りや雨の影響で曇りや雨。



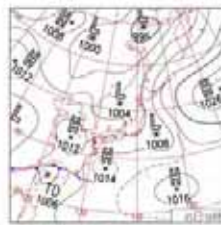
**19日(木)九州北部で大雨**  
梅雨前線は九州北部から紀伊半島までのびている。九州北部は活発な前線の影響で大雨。佐賀県田野市で83.5mm/hの猛烈な雨。北陸および東北南部・北部に梅雨入り発表。



**4日(水)北海道内陸部で雷雨**  
日本の東海上に前線を伴った低気圧があり東進。北海道は晴れ。日中気温が上がり夕方内陸部で雷が発生。本州は曇れ曇り。南西諸島や九州南部から紀伊半島の沿岸で雨。



**5日(木)太平洋側南東斜面大雨**  
上空に寒気を持った低気圧が日本海を北東進。高気圧に覆われた北海道を除き曇りや雨。徳島県阿南市湊生田47.5mm/hなど。西日本太平洋側の所々で多量に激しい雨。



**6日(金)梅雨の降り始め**  
日本海の寒帯低気圧の影響で東北地方以北は雨。関東以南は高気圧に覆われ梅雨の降り始め。先島諸島付近には熱帯低気圧。東京都千代田区は27.8℃と6月に入って初の夏日。



**7日(土)南西諸島大雨**  
東日本は高気圧に覆われ晴天。西日本と南西諸島は前線や低気圧の影響で曇りや雨の天気。特に熱帯低気圧の接近した石垣島では雷を伴い82mm/hの激しい雨を観測。



**20日(金)西日本の日本海側 大雨**  
梅雨前線は山陰沿岸まで北上。極く湿った空気が入り。九州北部～近畿は日本海側を中心に大雨。東海でも三重県伊賀市85.5mm/hなど非常に激しく降った所も。



**21日(土)九州北部で再び大雨**  
九州北部は梅雨前線の活発化に伴い、20日昼頃から長時間降り続いた大雨が降り、各地で浸水被害などが発生。熊本県湯前町では183mm/2hの激しい雨を観測。熊本県伊佐町では日降水量273.5mmを観測。



**22日(日)本州の南岸で大雨**  
梅雨前線は本州の南岸にかけてゆっくり南下。西日本から東日本にかけて雨。九州では土砂災害も発生し、熊本県湯前町では183mm/2hの激しい雨を観測。



**23日(月)関東、東海で雷雨**  
大雨をもたらした低気圧は東海上に抜けるが、東日本の上空に寒気流入し、大気の状態不安定。静岡県、長野県などで激しい雨や雷雨。北日本や九州は高気圧に覆われて日中晴れ。



**8日(日)低気圧本州南岸を通過**  
熱帯低気圧から変わった低気圧が本州南海上を通過。東海、関東の南岸は曇れ曇り。東北～北海道は日本晴れ。九州南部は、午後から夜にかけて強い雨。



**9日(月)上空に寒気流入**  
梅雨前線の上空に低気圧が東進。静岡県浜北市の上空約3700m付近で-15℃以下など上空に寒気流入し大気不安定。東～西日本の所々で雷雨。三重県桑野町観測所46.5mm/hの激しい雨。



**10日(火)梅雨前線北上**  
梅雨前線が東シナ海で北上。九州は鹿児島県指宿市34.5mm/hなど所々で非常に激しい雨。山口県を北九州北部に梅雨入り発表。北海道は気圧の谷が通過し、千歳所々で雨。



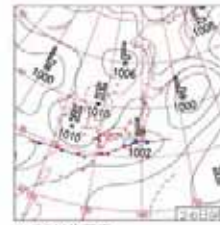
**11日(水)中国梅雨入り発表**  
梅雨前線が東シナ海から九州南部まで通って関東の南海上に停滞。九州で熊本県西原村319.5mm/2日などの大雨。一方、東日本から北日本ではとまどき晴れた。



**24日(火)東北と九州で激しい雨**  
三陸沖に低気圧。梅雨前線が九州の南海上を通過して大津へ。北日本や九州南部で雨。鹿児島県中種子町では激しい雨の所も。その他の気圧の峰になった関東中心に晴れの所が多い。



**25日(水)台風第6号熱帯に**  
梅雨前線は日本の南海上で停滞。前線上の九州付近を高気圧が通過。四国や近畿の太平洋側と九州は所々で激しい雨。南西諸島も極く湿った空気が入り曇りや雨。



**26日(木)梅雨寒**  
南岸に停滞する梅雨前線を低気圧が東進。関東では北東風が吹いて弱い雨が続き、4月中旬から下旬の寒さの所があった。その他の地方は晴れまたは曇り。



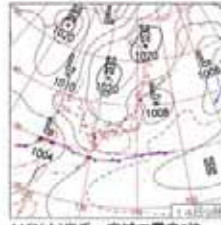
**27日(金)梅雨の中休み**  
梅雨前線が華中から南西諸島を通り本州の南海上に停滞。前線付近も活発ではない。九州地方から北海道地方にかけて高気圧に広く覆われ晴れや曇りの天気。



**12日(木)関東の大雨**  
11日九州に大雨を降らせた梅雨前線の上の低気圧が関東の南海上まで東進。関東が大雨になり群馬県伊勢崎市では観測史上1位となる100mm/2hの激しい雨を記録。



**13日(金)青森県で電撃発生**  
上空に強い寒気を持った低気圧の影響で、北日本は所々で雷雨。青森県藤崎町では電撃発生。梅雨前線に近しい沖縄も雷雨。その他は晴れて、岡山県真庭町久世で最高気温34.0℃。



**14日(土)岩手・宮城で震度4強**  
岩手県内陸部の宮城震度で0時43分頃、M7.2の地震発生。岩手・宮城等東北5県で震度3弱～6強。本州中部は沖縄も雷雨。その他は晴れて、北日本や西日本は梅雨前線等の影響で曇りや雨。



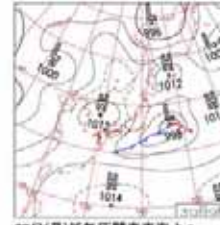
**15日(日)前線上の低気圧東進**  
東シナ海の梅雨前線より低気圧が東進。西日本太平洋側～南西諸島は雨。鹿児島県枝城町42mm/hなど九州南部は激しい雨となった所も。北日本多量気圧の谷が通過。北海道は夜雨。



**28日(土)西日本 再び大雨**  
梅雨前線が北上し九州へ。東シナ海から活発な雨雲が西日本に広がる。九州北部や高知県は40～90mm/hの大雨。北日本は高気圧に覆われて晴れ。東日本も日中は曇りや晴れ。



**29日(日)四国～関東沿岸で大雨**  
梅雨前線が中国を経て、関東沿岸へ伸びる。西日本太平洋沿岸部まで活発な雨雲が東進。徳島県美波町94mm/h。高知県高路村92mm/hの猛烈な雨。



**30日(月)低気圧関東東海上へ**  
前日雨をもたらした低気圧は東海上に抜け、梅雨前線が本州の南海上まで南下した。全国的に日本海に中心を持つ高気圧に覆われて、東海を除き晴れや曇りの天気。

2008年 7月

各地で局地的な大雨相次ぐ。  
・4日、静岡熱帯上り112.5mm/1h、  
・5日、長崎県志賀町102mm/1h、  
・17日、熊本県戸北町98.5mm/1h、  
・23日、群馬県利根市95mm/1h、  
・29日、京都府京丹波市84mm/1h、  
など。神戸市都賀川水増事故を始  
各地で浸水、土砂災害、突風等。

(気象庁予報部予報課)



1日(火)奄美地方、梅雨明け附近  
本州付近は、日本海に中心を持つ高  
気圧に覆われ梅雨明け。沖縄近海では  
高気圧が勢力を強め、奄美地方は梅  
雨明け附近となる。一方九州の西  
から梅雨前線の活発な雨雲が東進。



2日(水)奄美地方梅雨明け発表  
西日本は梅雨前線の接近で雨となっ  
たが、東日本から北日本にかけては  
高気圧に覆われ梅雨の中休み。奄美  
地方は梅雨明けを発表。鹿児島県名  
瀬市の最高気温は33.7℃。



3日(木)本年初の猛暑日  
西日本中心に強い南風が入り、気温  
上昇。香川県高松市、宮崎県延岡市  
で猛暑日。地場の湿度に加え、上空  
には寒気流入。北陸や西日本で雷  
雨。岐阜県下呂市で68mm/1h。



16日(水)台風第7号北上  
台風第7号は、八重山諸島の南海上  
を北上。日本付近は高気圧に覆われ、  
晴れた所が多かったが、大気の状態  
が不安定で、関東の山沿いで雷雨。  
大分県日田市で37.4℃。



17日(木)日本海側中心の猛暑日  
九州から東日本にかけては太平洋高  
気圧に覆われ各地、猛暑日。日本海  
に面した京都府の宮津市で最高気温  
36.4℃。九州、四国地方は湿った気  
流の影響で雷雲が広がった。雨。



18日(金)暖湿気による不安定  
梅雨前線は北日本をゆっくり東進。  
西～東日本は湿った南風が吹き込  
み込み、活発な雨雲や雷雲が次々発  
生。局地的に激しい雨。滋賀県栗原  
市と虎崎町で50～60mm/1h。



19日(土)東北まで梅雨明け発表  
前線を伴った低気圧が三陸沖を東進。  
芽吹まで進んでいた東北も次第に高  
気圧に覆われ梅雨明け。湿った空  
気が流れ込んだ中国は午後時々  
雷雨。東海～東北梅雨明けを発表。



4日(金)静岡県で大雷雨  
西日本は高気圧に覆われたが、九州  
は曇り時々雨。その他は晴れ。東  
日本は明け方から朝にかけて気圧の  
谷通過。静岡県富士市で112.5mm/1h  
の猛烈な雨。四国の梅雨明けを発表。



5日(土)長崎県で猛烈な雨  
日本の東や南海上の高気圧に緩やかに  
覆われて南風流入。日中は気温上  
昇。所々で猛暑日。上空を寒気が通  
過し、全国的に大気の状態が不安定。  
天明、長崎県佐賀空港で102mm/1h。



6日(日)九州梅雨明け  
九州は南海上の高気圧に覆われ梅  
雨明けを発表。また、ほのか東海上か  
ら降り出す優勢な高気圧に覆われ北  
海道と本州では晴れ。気温は高く、  
全国的に大気の状態が不安定。



7日(月)七夕の夜空  
大気の状態が不安定のため東北から  
北海道にかけて局地的な雷雨が発生。  
岩手県山形市で65mm/1hの激しい  
雨。七夕の夜空が見られるのは西日  
本など一部の地域のみ。



20日(日)北冷西暑  
気圧の谷や前線の影響を受けた北日  
本～北陸で曇りや雨となった他は、  
九州南海上の高気圧に覆われて晴れ  
気温上昇。愛知県大洲市で30.7℃な  
ど。西日本～東海は広く猛暑日。



21日(月)天気は2種化  
オホーツク海高気圧に覆われた北海  
道から東北の太平洋側は曇り。日本  
海側では晴れ。湿った気流の影響で  
関東も曇り。高気圧に覆われた西日  
本では晴れた猛暑日のところ多し。



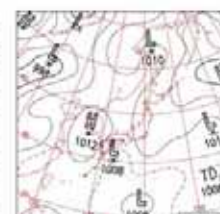
22日(火)二十四節気の大暑  
北日本の前線の影響で曇りや雨の天  
気。西日本から東日本にかけては広  
く高気圧に覆われ朝どおりの暑さ。  
兵庫県豊岡市では37.4℃を観測。  
熊本県山都町67mm/1hのわか雨。



23日(水)北日本で大雨  
日本海の高気圧と前線の影響で北日  
本は雨や雷雨。東～西日本は晴れ  
晴れた。湿った南風の影響により  
所々で激しい雨。京都府舞鶴市で最  
高気温30.6℃(4時間)の猛暑更新。



8日(火)北陸、近畿で激しい雨  
寒気を持った気圧の谷の影響で、引き  
続き大気の状態が不安定。北陸～東  
日本の所々で40～70mm/1hの大雨。  
宮崎県西米良村で最高気温36.7℃。  
鹿児島県姶野町で湿度97%の地盤。



9日(水)西日本が真夏日  
日本は中心を持つ高気圧に覆われ西  
日本は晴れて各地真夏日。九州では  
猛暑日の所々も。日本付近は引き続き  
大気の状態が不安定で、北日本や  
山沿いを中心に所々で雨や雷雨。



10日(木)南北蛇行の渦れ 解消へ  
日本付近で上空の流れはしばらく南  
北に交りついていたが、九州～西  
日本にかけてはよく晴れ、33℃以上の  
真夏日の所々あり。兵庫県淡路市、  
熊本県人吉市の最高気温34.3℃。



11日(金)北日本中心に寒気流入  
上空に寒気を持った低気圧が日本海  
を東進し、北日本で激しい雨。九州～西  
日本にかけてはよく晴れ、33℃以上の  
真夏日の所々あり。兵庫県淡路市、  
熊本県人吉市の最高気温34.3℃。



24日(木)岩手県で震度2強  
奥美～三陸沖に前線が停滞。北陸か  
ら北は曇りや雨。北陸～北日本に  
向って寒気流入。大分県津久井市で  
84mm/1hなど頻発する猛暑日や雷雨  
の地震。天明に岩手県北都で震度2強  
の地震。



25日(金)台風第6号発生  
奥美～三陸沖に前線が停滞。北陸以  
北は曇りや雨。他は前線も大気  
の状態が不安定。群馬県利根市で  
84mm/1hなど頻発する猛暑日や雷雨  
の所も。熊本県12mmのひょう。



26日(土)東海～西日本は猛暑  
太平洋高気圧が東海～西日本を覆う。  
一方、前線が山陰沖～東北南部に停  
滞。東海はよく晴れ。群馬県多  
治見市で最高気温が39.0℃となっ  
た。各地で猛暑日が相次いだ。



27日(日)発達した雷雨  
西日本を中心に高気圧に覆われ各地  
で猛暑日。大分県大町市では最高気  
温39.0℃。大分県大町市で発達した  
雷雨のため前線や右河  
原で突風の被害発生。



12日(土)東京で突風  
西日本から東日本の広い範囲で猛暑  
日。静岡県浜松市で37.3℃の  
体温を上回る気温を記録。上空の寒  
気の影響で午後から不安定。山陰～  
関東甲信の山沿いを中心に雷雲が  
発達。鳥取県佐治町で47mm/1h。



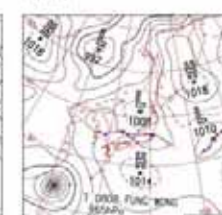
13日(日)山陰で激しい雷雨  
本州付近は高気圧に覆われて晴れた  
所が多いが、上空の寒気や目の寒  
気の影響で午後から不安定。山陰～  
関東甲信の山沿いを中心に雷雲が  
発達。鳥取県佐治町で47mm/1h。



14日(月)東北～九州で雷雨  
関東以西は南海上の高気圧に覆われ  
て晴れ真夏日や猛暑日。上空寒気や  
目の寒気により大気の状態不安定。  
埼玉県上野町で48mm/1hで7月の  
記録更新。



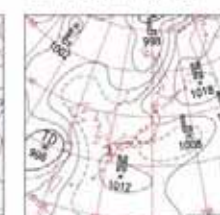
15日(火)台風第7号発生  
湿った強い気流や上空寒気の影響  
で引き続き大気の状態が不安定。関  
東以西の山沿いを中心に所々で雨や  
雷雨。徳島県上野町で48mm/1h  
など非常に激しい雨となった所も。



28日(月)北陸、近畿 猛烈な雨  
発達した前線が本州中部を南下。  
北陸は朝まで、日中は近畿を中心と  
した西日本や東海で激しい雨や雷雨。  
香川県、兵庫県で河川の増水による  
被害発生。北日本は寒気による雨。



29日(火)関東以西で暑さ続く  
関東以西では本州南海上の高気圧に  
覆われ、四国～九州の各地で猛暑日。  
愛知県今治市では37.7℃で観測史上1  
位の記録更新。東北以南は大気の状態  
不安定。所々で雷雲が強い雨。



30日(水)北冷西暑続く  
引き続き東海以西は北海上の高気圧  
に覆われて真夏日や猛暑日となり、  
午後山沿いを中心に所々で雨や雷  
雨。他は平気近海の高気圧が張り出し、  
北日本太平洋側は冷涼。



31日(木)気圧配置は変わらず  
西日本は太平洋高気圧に覆われ真暑  
日や猛暑日が続く。梅雨気流の影響  
で山沿いの所々、平気近海の高気圧  
から吹く東寄りの風の影響で北日本  
を中心に曇り。気温は上がらず。

2008年 8月

・14日～15日、熱帯低気圧の通過により、山形県で記録的大雨。庄内町野川418mm/24hなど。  
・26日～31日、前線と高気圧の影響で各地で局地的大雨。この間の降水量は安房崎岡崎町147.5mmなど。気象庁は平成20年8月降水量と発表。

(気象庁予報部解説)



1日(金)雷雲による雨  
前線を伴った低気圧の接近で北日本は曇りや雨。西日本から東日本にかけては広く高気圧に覆われるが所々で雷雲が発達。静岡県浜松市で69.9mm/1hの非常に激しい雨を記録。



2日(土)北海道で大雨  
関東以西は太平洋高気圧に覆われ曇りや雨。北海道は曇りや雨で、太平洋側で大雨。太平洋高気圧に覆われた本州は概ね晴れて暑くなった。兵庫県豊岡市の最高気温38.4℃。



3日(日)東北も暑い一日  
日本海には前線を伴った低気圧がやって東進。北海道は曇りや雨で、太平洋側で大雨。太平洋高気圧に覆われた本州は概ね晴れて暑くなった。兵庫県豊岡市の最高気温38.4℃。



16日(土)台風八丈島の雨を通過  
本州付近に前線が停滞して各地で雨や雷雨。大気の状態が不安定となり、千葉県沖の東京湾では竜巻が発生。八丈島の雨を午前中に台風11号が通過。



17日(日)関東～東北 肌寒い日  
本州上の前線は南海上に南下するが、九州付近は前線が停滞し大雨が続く。関東～東北は夏暑りの冷たい海風が流入。最高気温は9月中旬～10月上旬並。



18日(月)台風第12号発生  
前線は本州の南に南下。北海道から近畿・四国まで高気圧に覆われ、関東～東北は夏暑りの冷たい海風が流入。最高気温は9月中旬～10月上旬並。



19日(火)白鳥岳大雪 土砂崩落  
日本海沿岸の寒冷前線が本州付近を東進。本州の太平洋側で初めて降った雨は、各地で曇りや雨または雷雨。熊本県八代市75.9mm/1hなど非常に激しい雨の所も。



4日(月)前線停滞  
日本海沿岸に前線が停滞。前線の南側の関東以西は、暖かく湿った空気が入り、日本海側や山沿いを中心に雨や雷雨。夜は関東平野も雷雲を伴った激しい雨。



5日(火)太平洋側で強雨  
東北南部から九州の太平洋側で大気の状態が不安定となりわか雨。特に関東甲信地方では昼時間以降、その他は高気圧に覆われ、晴れて気温上昇。南シナ海で台風第9号発生。



6日(水)朝夕に激しい雨  
大気の状態不安定。関東北部は明け方まで激しい雨。全国的に晴れの所が多いが、午後から甲信～西日本で雷雨。岐阜県豊田川町で73.5mm/1h、大宮市秋友町で71.5mm/1h。



7日(木)真夏の暑さの「立役」  
南海上の低気圧に沿って湿った空気が西日本に流入。紀伊半島～九州南部で激しい雨や雷雨。北日本～東日本は概ね晴れて気温上昇。群馬県館林市で37.6℃、福島市で37.2℃。



20日(水)北日本では雨  
低気圧が日本海と三陸沖にあり、日本付近は大きな気圧の谷となっており、北海道～東北北部は雨。その他の地方は晴れたが、大気が不安定となりわか雨の所も。



21日(木)広範囲で大気不安定  
上空に寒気を伴った低気圧が東北南部を通過し、広い範囲で大気不安定による雷雨。福島県の相馬市では42.5mm/1hの激しい雨。関東では雷雨による人や建物への被害が多発。



22日(金)福内市で記録的低温  
オホーツク海高気圧が北日本～関東を覆い、北海道と東海～近畿は概ね晴れたが、関東地方は北高気圧で曇り。北海道稚内市沼田では最低気温が15℃となり、8月の記録更新。



23日(土)所々で激しい雨  
日本海に低気圧、西日本に前線が停滞。オホーツク海の高気圧が北日本を覆う。北海道は一部で晴れ。その他は大気不安定で所々雨。三重県大紀町藤原町で84.5mm/1hの猛烈な雨。



6日(金)都心も猛暑日  
西日本～南四国は南海上の低気圧部周辺で湿った暖かい空気の影響で激しい雨や雷雨。東～北日本は概ね晴れ。各地気温が上がり、東京都心でも33.3℃の猛暑日。北京で五輪開幕。



9日(土)甲府 12ミリのひょう  
南四国島や九州南部は沖縄付近の低気圧の影響で、九州北部～関東甲信は上空の冷たい空気の影響で、それぞれ曇りや雨となり所々雷雲。北日本～北海道は高気圧に覆われ概ね晴れ。



10日(日)台風第10号発生  
移動性高気圧が北海道付近を通過。関東～東北地方の太平洋側では北風によって曇り。一方、西日本を中心に猛暑日が続いた。夜の初めごろ、東京都練馬で非常に激しい雨。



11日(月)沖縄近海で熱帯発生  
日本列島は広く高気圧に覆われて暑い一日となり。福岡市で最高気温37℃を記録。九州から南西諸島にかけては南から入った空気が流入し、所々で雷を伴った激しい雨。西日本～南四国島は概ね晴れ。



24日(日)東海道新幹線に乱れ  
日本海の高気圧と、南海上の前線や低気圧の影響で北～東日本は太平洋側を中心に曇りや雨。三菱電機国産材料では、横付け64mm/1hの非常に激しい雨。



25日(月)東～北日本では雨続く  
日本の南海上から湿った気流が入り、東日本～東北の太平洋側で雨だが、九州～四国を中心に晴れ。沖縄県国産材料では、横付け64mm/1hの非常に激しい雨。



26日(火)動きの遅い低気圧  
本州の南海上にある動きの遅い低気圧と東シナ海を東進する低気圧の影響で、南四国島と北九州の一部を除き曇りや雨。小笠原諸島では雷雲の動きが速くほぼ毎日雷雨。



27日(水)西日本、北海道で雨  
低気圧は九州南岸へ、南からの湿った気流の影響で西端、甲府、九州は激しい雨。鹿児島県伊予市南郷は64.5mm/1h、福島県美郷町日和田で60mm/1h。東北～関東は日中晴れ。



12日(火)熱帯 九州西海上を北上  
南から湿った空気の流入続き。九州～四国は雨。本州は高気圧に覆われ晴れの所が多いが、強い日射の影響で午後は所々で雨。関東～東北の太平洋沿岸は、湿った海風で曇り多。



13日(水)熱帯低気圧 日本海へ  
東北以南は低気圧の通過で、概ね晴れて猛暑日や真夏日。兵庫県豊岡市で37.6℃。九州～関東は南から湿った空気の流入続き。南四国島は熱帯低気圧の影響で、所々で雷雨。



14日(木)山形県で猛烈な雨  
日本海に前線が停滞。前線の南には熱帯低気圧が湿った空気を持ち込んだため、山形県庄内町野川318mm/1日と記録的な大雨となった。他の方でも大気不安定で所々猛烈な雨。



15日(金)台風第11号発生  
熱帯低気圧が東北地方を通過し、山形県庄内町野川で前日からの降水で429mm/24hとなった記録更新。日本の南海上で台風第11号が発生。北緯30°付近を東進しながら東北東進。



28日(木)北陸～関東で大雨  
日本海沿岸の前線に向かって湿った空気が流入し、西日本～関東の広い範囲で大気不安定による大雨。愛知県一宮市120 mm/1h等、北陸～関東各地で観測史上1位の記録更新。



29日(金)各地で局地的大雨  
日本海沿岸の前線や日本の南海上の低気圧の影響で暖かく湿った空気が流れ込み、北～西日本の広い範囲で局地的大雨。愛知県岡崎市146.9mm/1hなど猛烈な雨の所も。



30日(土)局地的大雨続く  
西日本～北日本に前線が停滞。南から湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定。各地で雷を伴った猛烈な雨。千葉県熊野平で観測史上1位となる105 mm/1hを記録。



31日(日)激しい雨は一役滞  
本州付近にあった停滞前線は次第に活動が弱まり、強い雨は関東から東北に移った。至る所記録していた各地の100mm以上/1hのはなくなりホッと息。

日々の天気図

No. 80

2008年 9月

- ・21日～3日、三重県、岐阜県で局地的大雨。岐阜県関市町は24時間437mmの降水。
- ・13日、台風第13号により沖縄県と鹿児島県で765mm/日の大雨と最大瞬間風速42.8m/sを記録。
- ・19～19日、台風第13号の影響で東京直上北1100hの猛烈な雷雨。

(気象庁予報部提供)



**1日(月)月が変わるも不安定**  
日本付近には依然湿った空気が残り、日本晴れた所もあったが、午後一度は局地的な雨や曇。北海道は低気圧接近による雨。「防災の日」、各地で防災訓練実施。



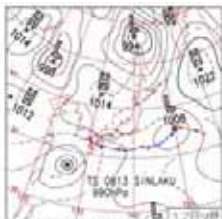
**2日(火)東海で大雨**  
日本付近は低気圧の谷となり、近畿、東海と東北南部太平洋側は曇り、東海、北陸西部の所々で雷雨。その他は概ね晴れ。岐阜県揖斐川町小津90mm/1hの猛烈な雨。



**3日(水)東海・北陸で大雨**  
日本海は低気圧や南海上の低気圧の影響で北日本～近畿は曇りや雨。東海・北陸は局地的大雨となり、岐阜県揖斐川町小津は前日からの総雨量が447mmに達した。



**16日(火)本州は天気回復**  
前線は日本の南海上に南下し、北海道や本州は日本海側から晴れ間が広がる。台風の影響は曇りや雨。東日本から北日本は概ね晴れ。沖縄県豊後高田で53mm/1h。



**17日(水)沖縄本島で台風の影響**  
日本の南海上から九州南部に前線が停滞。台風近傍の沖縄本島は曇れた天気。九州～近畿は曇りや雨。東日本から北日本は概ね晴れ。沖縄県豊後高田で53mm/1h。



**18日(木)台風第13号 北東進**  
台風第13号は東シナ海を北東進し、夜のはじめ頃に種子島付近を通過。九州南部は大荒れ。高気圧に覆われた北日本～北陸で晴れた他は曇りや雨。三重県尾鷲市で120.5mm/1h。



**19日(金)台風は南岸を東北東進**  
台風第13号は日本の南岸を東北東進、九州～四国、本州南岸では短時間強雨を伴った大雨となり、この雨により鹿児島、宮崎両県では床上・床下の浸水、土砂災害などが発生。



**4日(木)北日本中心に概ね晴れ**  
北日本は日本海の高気圧に覆われ晴れ。東北～関東の太平洋側では北東風で曇り。関東以西では雨から晴か曇った空気が流入し所々にわか雨。その他は晴れ。



**5日(金)近畿中心に不安定**  
本州は穏やかに高気圧に覆われているが、九州の南海上にある低気圧の影響で近畿を中心に大気の状態不安定による雷雨。大阪府堺市で93.5mm/1hの猛烈な雨を観測。



**6日(土)広範囲で不安定**  
東～西日本は晴れた所も多いが、上空の寒気の影響で午後から不安定。山深い中心に雷雨。新潟県長岡市で観測更新となる65.5mm/1h。北日本は最高気温が平年より5～7度高い。



**7日(日)引き続き不安定**  
関東～西日本の太平洋側は晴れの所が多いが、その他は曇り。大気の状態は引き続き不安定で、全国的に所々で雷雲発達。鳥取県沖の鳥取西部で79.5mm/1hの非常に多い雨。



**20日(土)台風 伊豆諸島を通過**  
台風第13号は勢力を弱めながら伊豆諸島の北部を通過。三宅島沖では最大瞬間風速47.2m/sを00時42分に観測。伊豆大島元町では52mm/1hの激しい雨。



**21日(日)西～東日本 不安定**  
前線に吹き込む暖かくなった空気が上空の寒気の影響で、大気の状態不安定。九州～東北の広い範囲で激しい雨や雷雨。香川県多度津町、徳島県阿南市付近で突発的雷害発生。



**22日(月)関東など未明に雷雨**  
前線を伴った低気圧が関東の南岸をゆっくり東進。東北南部～東海では曇りや雷雨。天気回復された。関東や東海の一部では未明に雷雨。その他は高気圧に覆われ概ね晴れ。



**23日(火)秋分の日**  
寒冷前線が北日本を通過。北海道は雨から次第に晴れ。東北は曇りや雨。東～西日本は晴れたが、日本海側は夕方から次第に雨。曇った空気が入り九州～南西諸島は所々にわか雨。



**8日(月)天気は変わり目**  
中国東北部の高気圧が張り出し、全国的に概ね晴れ。上空の気圧の谷が通過した北～東日本の所々で雨や雷雨。九州や南西諸島も曇った空気がフィリピンの気圧の谷の影響で所々雨や雷雨。



**9日(火)初秋の天気**  
日本付近は日本海に中心を持つ勢力の強い移動性高気圧に覆われ、全国的に晴れ。東～西日本では、雨により夏日。一方、台風第13号がフィリピン東海上を、ゆっくり北上。



**10日(水)概ね穏やか**  
日本の東海上に中心を持つ高気圧に広く覆われ、日本付近は概ね晴れ。しかし九州から南西諸島にかけて曇った空気の流入で曇りや雨。引き続き台風第13号がゆっくり北上。



**11日(木)九州、沖縄、関東で雨**  
日本付近は引き続き晴れの所が多いが、九州は曇った空気が寒気。関東は低気圧の接近により雨。非常に強い台風第13号の接近で先島は大しけ。北海道で震度3弱。



**24日(水)北海道では冬の便り**  
日本付近は日本海に中心を持つ高気圧に覆われ、九州と北海道を除いて、概ね晴れ。北海道では最高気温が5℃未満の所があり、利尻山、響子別荘、旭川の初冠雪が観測された。



**25日(木)この秋初めての冬日**  
日本海を東進する低気圧の影響で本州は雨または曇り。北日本には冷たい空気が入り、北海道南端大井岬半島で5℃を観測。この秋初めての冬日となった。



**26日(金)季節を分ける前線**  
本州上を前線が南下。西～東日本の広い範囲で雨。前線の南側では激しい雨が、前線通過後の北からの冷たい空気に覆われ気温急降。大分県津島市で70mm/1hの非常に多い雨。



**27日(土)冬の便り北陸まで南下**  
西高気圧の気圧配置で、寒気に覆われた北陸から北日本の日本海側を中心に冷たい雨や曇り。岩手山、月山、立山で平年より12～18日早く初冠雪が観測された。



**12日(金)沖縄、北日本で強い雨**  
日本太平洋側は熱帯低気圧の北上接近で、石垣島では台風第13号の影響で強雨。北海道道中町新町40.5mm/1h。沖縄県石垣市川平の降雨量444.5mmは史上1位の記録更新。



**13日(土)先島諸島大荒れ**  
台風第13号は八重山諸島近海を引き続きゆっくり北西進。最大瞬間風速62.8m/sを観測した沖縄県那覇空港は終日雨。110mm/1h。日降水量76mmは観測史上1位の値を更新。



**14日(日)中秋の名月**  
台風第13号は沖縄の南を北西に進み、台湾北部をすくすくやや衰弱し、東シナ海に抜けた。本州の日本海側や北日本では次第に晴れたが、その他は雲の多い夜となった。



**15日(月)停泊前線九州にのびる**  
台風第13号は台湾の北を東北東に進み、九州では東シナ海からののびる停泊前線の影響で激しい雨。鹿児島県枕崎町71.5mm/1h。沖縄県那覇町新町64.5mm/1h。



**28日(日)台風 先島諸島に接近**  
台風第15号は先島諸島近海を北西進し、鹿児島を伴う激しい雨。南海上の秋の前線や寒気の影響で、曇りや雨となつて全国的に気温低下が。最高気温は11月上旬並の所も。



**29日(月)秋の前線九州で活発化**  
本州の南海上に秋の前線が停滞。台風第15号の北上に伴い、鹿児島県も都府県予報上中で57 mm/1hの非常に激しい雨。南シナ海で台風第16号が発生し北西進。



**30日(火)九州に台風第15号接近**  
東シナ海から東にのびる秋の前線より、西日本から東日本は雨または曇り。台風に近い九州南部では前線の活動が活発となり、鹿児島県では200mm/24h前後の大雨。

日々の天気図

No. 81

2008年 10月

- 9日、北海道で局地的大雨。千歳市実雨量185mm、白老郡白老町実量177.5mmの記録。
- 21日～24日、南に連なる気圧の谷が通過。各地で降水量が100mmを超す大雨。24時間で三重県大台町215.9mm、千葉県君津市191.5mm、和歌山県串本町188mmの降水。

(気象庁予報部予報課)



**1日(水)西から次第に天気回復**  
台風第15号は九州の南海上で温带低気圧に。九州や西一帯日本太平洋側の雨も止み、西側の地域から晴れ間が広がる。北日本は寒気を伴った気圧の谷が通過し、雨や雷雨。



**2日(木)東京の空にアキアカネ**  
日本付近は高気圧に覆われる。北海道東部では所々で曇り。他は全国的に晴れ。朝方は冷え込んだが日中は暖かい一日。稚内市洞内で最低気温-0.6℃。南シナ海で台風17号発生。



**3日(金)本州付近は概ね晴れ**  
高気圧に覆われた東北～九州北部は概ね晴れ。道庁前線が通過した北海道と低気圧に近い関東や九州南部、西側の太平洋沿岸は曇りや雨。台風17号は熱帯低気圧に変わる。



**16日(木)さわやかな秋晴れ**  
九州～北海道は高気圧に覆われ、乾燥した晴天が広がる。一方、前線に近い西諸島は一部で激しい雨や雷雨。沖縄県国頭村実量で90mm/1h。北海道旭川市で初霜を観測。



**17日(金)北海道旭川市で初霜**  
日本付近は高気圧に覆われ概ね晴れたが、北海道南部は気圧の谷の通過時に所々雨。近畿太平洋側や西側は深った空気の流入で曇り。積っていた東日本以北で夕方から曇り。



**18日(土)本州付近は概ね晴れ**  
高気圧の南縁に沿って空気が流入した関東や九州南部・関東の所々で曇りや雨となった他は、引き続き高気圧圏内で概ね晴れ。北海道は気圧の谷が通過して各地で一時的。



**19日(日)台風19号発生**  
日本列島は引き続き北海道海上の高気圧に広く覆われ晴れ。深った空気の流入した関東地方の一部で曇り。日本の南海上では気圧の谷が大きく、北東の風が強く速が早い。



**4日(土)北日本と九州南部は雨**  
北日本は寒冷前線が通過し、にわか雨や雷雨。新潟県で海上竜巻。奄美近海で低気圧がほぼ停滞。周辺の高気圧の影響で九州南部は所々雨。その他は東海上の高気圧に覆われ晴れ。



**5日(日)雨域ゆっくり東へ**  
東シナ海に発生した低気圧はゆっくり東進。雨の地域は西日本から東日本まで広がる。北日本も徐々に曇りが広がるとともに、南西諸島は晴れ。南大東島の最高気温11.7℃



**6日(月)西日本は晴れ間戻る**  
低気圧は本州南岸を東進。午前中は東日本、午後北日本中心に雨。西日本は日中晴れて暖か。北海道は放射冷却により、朝の最低気温は平年より3～5℃低い。



**7日(火)伊豆大島で激しい雨**  
本州の南に前線停滞。夜にかけ活動は活発化。北日本の一部で晴れた他は概ね曇り。前線近傍の太平洋側を中心に雨。沖縄県で竜巻。伊豆諸島の大島70mm/1hの非常に激しい雨。



**20日(月)台風第18号温帯化**  
本州の東海上と低気圧と台風第18号が合流。台風は21時に温帯低気圧に変わった。東北、関東の太平洋沿岸にはうねりが到達。九州地方から南西諸島にかけては所々で雷雨。



**21日(火)九州は汗ばむ晴気**  
日本付近は移動性高気圧に覆われ、沖縄本島や大東島で雨があった他は全国的に晴れ。九州北部を中心に9月中旬並の晴気で、福岡市の最高気温は平年より1.1℃高い28.2℃



**22日(水)西日本から雨**  
東北に中心を持つ高気圧に覆われた北日本や関東では概ね晴れたが、その他は曇り。西日本から所々雨となる。長崎県新上五島町有田では63.5mm/1hの非常に激しい雨。



**23日(木)本州付近は曇りや雨**  
千鳥込海の高気圧に覆われた北海道は概ね晴れ。上空の気圧の谷が通過し、深った空気が流入した西一帯日本や東北は曇りや雨。高知県高知市後賀の75mm/1hは観測史上1位。



**8日(水)関東気温上がらず**  
日本の雨の南縁より低気圧が東進。南西諸島は所々で雨。北日本太平洋側～関東は北海道付近の低気圧から深った東よりの風が入って曇りや雨。他は高気圧に覆われて概ね晴れ。



**9日(木)北海道で局地的大雨**  
移動性高気圧が北海道の東海上へ去り北日本は曇り一部で雨。北海道千歳市実雨量64.5mm/1hは観測史上1位。朝鮮半島に高気圧。東西日本は概ね晴れて9月中旬～下旬の気温。



**10日(金)天気ゆっくり下り坂**  
日本の南海上には前線が停滞。南に連なる大きな気圧の谷が西から接近し、北日本は徐々に曇った空気が流入し大気の状態が不安定。秋田県沖の海上で竜巻が発生。



**11日(土)北日本 冬型強まる**  
北～東日本を寒冷前線が通過し、北日本中心に冬の気配が広がる。日本海は寒気に伴った低気圧の配置で、前線通過後は強い北西風が吹き込み、各地で気温低下。



**24日(金)三重県志摩市で竜巻**  
前線を伴った低気圧が本州南岸を通過。一方、日本海北部の低気圧の深層前線が北海道を通過。北海道や本州で降水量100mmを超えたりも。茨城県北茨城市花田142.5mm/日。



**25日(土)高波、釣り人ささう**  
気圧の谷は北へ向け北海道は晴れたほかは上中層雲に覆われ概ね曇り。新潟県新潟市で釣り人11名が高波で受け海に転落。救助の消防隊員も転落。その後全員救助された。



**26日(日)東北、冬で突風暴**  
北日本を寒冷前線が通過。前線や気圧の谷の影響で全国的に雨の地域が多く。北海道や本州の日本海側では雷を伴って強く降る。南西諸島は概ね晴れ。稚内市で初霜を観測。



**27日(月)千葉県いすみ市で竜巻**  
北日本を寒冷前線が通過。前線や気圧の谷の影響で全国的に雨の地域が多く。千葉県で直径3ミリのひょうを観測。北海道千歳市、福島県香取市、長野県甲斐駒ヶ岳で初霜を観測。



**12日(日)四国以北で秋の深まり**  
冬型の気圧配置の残る北日本の一部や前線近傍の小笠原諸島は雨。別島は高気圧に覆われ晴れや曇り。最高気温は、北海道～四国にかけて平年以下で、長野県諏訪市で3.2℃低い。



**13日(月)穏やかな行楽日和**  
本州付近は移動性高気圧の通り道。相対的に気圧の谷となった東海～関東や九州南部で午前中曇った他は概ね穏やかな晴天の体育の日。北海道帯広市東4条で初霜・初水多観測。



**14日(火)南岸低気圧の雨**  
高気圧の中心が日本の東へ抜け、本州の南海上で低気圧が東進。このため東日本から西日本は雨。沿岸部で雷雨となり。高知県高知市後賀で29mm/24hを観測。



**15日(水)山形県で海上竜巻**  
南海上の高気圧による雨は朝まで。黄海の高気圧に覆われ概ね晴れ。北陸～東北は寒気を伴った気圧の谷が通過。所々で雨や雷雨。北海道の最高気温は平年より3～6℃高い。



**28日(火)冬の便り南下**  
本州以南は日本海側が寒気の影響でしつこく曇り。西から高気圧に覆われて概ね晴れ。北海道は気圧の谷が通過して曇りや雨または雪。北海道函館市で梅津流の初霜を観測。



**29日(水)旭川で初霜**  
北日本には寒気が入り、北海道東部の広い範囲で最低気温が氷点下となった。旭川では平年より4日目の初霜。一方、寒冷前線が本州を通過し、関東の一部でにわか雨。



**30日(木)冬の訪れ関東北部まで**  
冬型の気圧配置は続んだが、北日本の日本海側は曇りや雨の天気。標高の高い所は雪。その他の地方は高気圧に覆われる。群馬県入道市の千手ノ山、白砂山で初霜を観測。



**31日(金)九州は冷たい雨**  
高気圧が東に抜け、日本付近は日中にかけて曇りが広がる。北日本日本海側や九州は、低気圧や前線の接近による雨。熊本県入道市の最高気温は、平年より8.7℃低い12.1℃。

日々の天気図

No. 02

2008年 11月

・6日、前線と低気圧の影響で鹿児島県南さつま市で最大22mm/1h、  
 ・7日～9日、発達した低気圧により、北海道樺内市で最大風速35.7m/s、最大瞬間風速38.7m/s、  
 ・30日、冬型の気圧配置となり山形県酒田市場島で最大風速29.7m/s、最大瞬間風速36.3m/sを記録。

(気象庁予報部予報課)



**1日(土)東京地方で本格的に1号**  
 北～東日本は一時強い冬型の気圧配置となり日本海側と北海道は朝のうち雨、午後は回復して晴れ。その他は晴れ。東京地方は昨年より17日早い「本格的に1号」が吹く。



**2日(日)山形市 初氷**  
 南西諸島～九州と東～西日本の日本海側や北日本は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨。秋田県で竜巻発生。他は所々で薄雲が広がったもの、南海上の高気圧に覆われて概ね晴れ。



**3日(月)文化の日**  
 日本海北部と日本の南海上に低気圧があって東進。全国的に曇りや雨。北海道～東北の所々や東海の一部及び西国～九州南部では雨が降り、東北地方では雷雨となった所も。



**16日(日)台風第20&21号発生**  
 日本付近は気圧の谷。この影響で全国的に雨や曇りの天気となった。最低気温が全国的に平年より2～4℃程度高く。北海道釧路市の最低気温8.8℃で平年より8.2℃高い。



**17日(月)17号で地震(M7.5)**  
 西日本の日本海側と北～東日本は、目中は概ね晴れたが、新潟を中心に気圧の谷の影響で曇りや雨となり、所々より雷雨。西日本の太平洋側は晴れ。



**18日(火)近畿地方 本格的に1号**  
 低気圧が近畿付近を進み、大陸には優勢な高気圧があって、次第に冬型の気圧配置。日本海側は曇りや雨で夜には寒気が流入して初雪の所もあり。風も強い。太平洋側は晴れ。



**19日(水)寒気流入**  
 全国的に冬型の気圧配置となり強い寒気が流入。日本海側を中心に多くの地域で初雪。新潟では竜巻が、輪島では直径10mmのヒョウが観測される荒れた天気となった。



**4日(火)北日本に初雪**  
 北日本に寒気が流入し札幌をはじめとする北海道の広い範囲で初雪を観測し一部世界へ。この雪は東北にも訪れ青森で昨年より11日早い初雪を観測。



**5日(水)北日本は不安定**  
 西～東日本は高気圧に覆われ概ね晴れるが、北日本は気圧の谷が通過。所々で雨や雷雨。秋田市で15mmのひょう。先島諸島も暴風に激しい雨。北海道釧路市最低気温-8.8℃。



**6日(木)九州南部で猛烈な雨**  
 高気圧が東に抜け次第に気圧の谷が入る。東～北日本太平洋側は概ね晴れ。日本海側は曇りや雨。西日本は前線の影響で所々雨。鹿児島県南さつま市加世田62mm/1hの猛烈な雨。



**7日(金)台風第19号発生**  
 寒冷前線が通過し北日本～北陸は雨、北海道は次第に曇りや大雨に。北高気圧後継前線に竜巻発生。南海上の前線上を低気圧が東進。太平洋側は午後一時晴れたが新潟は曇りや雨。



**20日(木)さらなる冷え込み**  
 冬の季節風が強まった北日本は大雪や吹雪となり、北海道では多くの地点で真冬日。西日本の最低気温は軒並み真冬日。大阪市、広島市、宮崎市などで初霜。初氷を観測。



**21日(金)寒さも伸び続く**  
 低気圧が津軽海峡を進み、冬型の気圧配置が崩れた。関東や西日本の所々で晴れたが、その他は日本海側を中心に雨や雪で曇りの所も。日中の最高気温は平年並みの所多い。



**22日(土)北日本中心の冬型**  
 一時的に強い冬型の気圧配置となったが、その後は緩み次第に北日本で時々雨や雪となった。他は西から移動性高気圧に覆われて概ね晴れ。赤城山の初雪を観測(平年と同じ)。



**23日(日)冬型 次第に強む**  
 北陸～北日本は強い冬型の気圧配置が続き、雨や雪。一方、関東～中国、四国は高気圧に覆やかに覆われ、よく晴れた。九州は東シナ海に発生しつつある低気圧によりにわか雨。



**8日(土)盛岡で初雪**  
 北海道は12月型の寒気が入り、日本海側中心に2時間ほど10～20cmの降雪。盛岡で平年と同日の初雪を観測。本州南岸に伸びる前線の影響で東～西日本は南部を中心に雨。



**9日(日)季節を分ける雪**  
 日本付近は冬型の気圧配置が続いているが、本州は大陸と南海上の高気圧の境目にあたり寒気が多く所々で雨を観測。北海道東部は平年並みの低気圧の影響で曇風が続く。



**10日(月)南西諸島も肌寒く**  
 本州付近は太平洋側の雨が収まるも、依然寒が多く初寒。南西諸島は昨日で自身も気温が上がり、那覇市焼酎の最高気温は22.8℃。6月以降、初めて夏日が途切れる。



**11日(火)東北～北海道冷え込む**  
 東北以北は放射冷却で最低気温が多くの所で平年並以下。北海道釧路市市街地で-10.3℃。北海道釧路市や青森市などで初霜や初氷。福島県喜望山で高さ300～程度の積雪を観測。



**24日(月)太平洋側は久々お湿り**  
 低気圧が西～東日本の太平洋沿岸部を東北東進したため、西～東日本では曇りや雨。山陰の一部は雪。四国から関東の太平洋側は18日以来の久しぶりにまとまった雨。



**25日(火)北海道で記録的な寒さ**  
 本州は日中日照しが戻る所が多いが、北陸や山陰は雨や雪。最低気温は、北海道下川町で平年より18.3℃低い-20.9℃をはじめて、道内4ヶ所で-20℃台を観測(11月の極値更新)。



**26日(水)今朝も北海道冷え込む**  
 北日本の日本海側と南西諸島は雨や曇りだが、その他は移動性高気圧に覆われて多量な日照。北日本では放射冷却により12月下旬から真冬の並みの最低気温。



**27日(木)関東 日中真冬の気温**  
 高気圧は日本のほとんどの所にあり、日本付近は次第に深い気圧の谷に。東北～北陸、山陰で午前中を中心に晴れた他は全国的に曇りや雨。新潟市で初霜。秋田市で初霜・初氷を観測。



**12日(水)山形県酒田市 初氷**  
 日本の南の前線上を低気圧が東進し、八丈島の南の海上は大しけ。東北南部の一部と関東甲信で曇りや雨となった他は、三陸沖や東海の移動性高気圧に覆われて概ね晴れ。



**13日(木)全国的に晴れ**  
 日本の東海上と朝鮮半島の高気圧に覆われて全国的に晴れたが、南西諸島は高気圧の縁で初めの雨の所も。気温は10月下旬～11月上旬並で、東海から西の太平洋側で20℃超の所も。



**14日(金)曇りやかな晴れ**  
 日本付近は低気圧の接近する北海道や南西諸島を除き、昨日に続き広く高気圧に覆われ晴天。このため各地で最高気温は10月中旬から下旬並みの曇りやかな1日。



**15日(土)天気は下り坂**  
 高気圧の勢力が弱まり、大陸から低気圧や気圧の谷が接近。九州は曇りから、四国、中国も夜には雨。東海と関東の一部で雨からの戻った気象による曇り雨。



**28日(金)発達中の低気圧により暴風**  
 関東の沖を低気圧が北東進。21時には三陸沖で98hPaに急発達。東北の太平洋側で暴風警報が出され、宮城県牡鹿郡女川町江ノ島で日最大風速、北東22.0m/sを記録。



**29日(土)日本海側大荒れ**  
 日本海に低気圧があり北海道、北日本から本州にかけては日本海側を中心に曇りや雷雨。風も強く山形県酒田市場島で日最大瞬間風速35.6m/sを観測。



**30日(日)北日本 風雪強まる**  
 北日本を低気圧が通過。冬型の気圧配置に。東～北日本の沿岸部中心に引き継ぎ風強く、日中気温が下がった北日本では吹雪の所も。青森市で8mm、山形県酒田市で7mmのひょう。

日々の天気図

No. 83

2008年 12月

- 4日～5日、南の高気圧の通過に伴い、各地で強風や突風。富山県朝日町29m/s、横浜市27.3m/sの瞬間風速。神降、神奈川、東京で竜巻発生。
- 26日～29日、オホーツク海に発達した低気圧。冬の気圧配置。北海道より10.43m/sの瞬間風速。福島沖解氷域1777cm<sup>2</sup>の浮氷量。

(気象庁予報部手帳製)



**1日(月)長崎市で初氷**  
日本付近は移動性高気圧に覆われる。九州南部と日本海側および東海の一部で曇った他は概ね晴れ。九州の最低気温は、平年より2～4℃低く12月中旬から1月並の気温。



**2日(火)福井・彦根 強い初霜**  
関東の東海上に低気圧が発生。関東～東北南部の一部で曇りや雨となった他は概ね晴れ。寒冷前線や気圧の谷の影響で北日本や西日本の日本海側は次第に曇り。雨や雷雨の所も。



**3日(水)概ね晴れ**  
日本海の高気圧に覆われ晴れたが、気圧の谷の影響で東北や日本海側の所々で曇り。その他は概ね晴れた。北海道稚内市の最高気温は7.1℃で、平年より7℃低い11月上旬並。



**16日(火)晴れの日**  
日本付近は移動性高気圧に覆われる。北海道の日本海側と西国太平洋側の所々で曇り。その他は概ね晴れた。北海道稚内市の最高気温は7.1℃で、平年より7℃低い11月上旬並。



**17日(水)南海上に低気圧**  
紀伊半島沖に低気圧が発生し、発達しながら北東進。東北南部～近畿の太平洋側は曇りや雨。気圧の谷が通過した北海道の一部で雨となった他は高気圧に覆われ概ね晴れ。



**18日(木)冬の気圧配置**  
低気圧が日本の東海上を発達しながら北上し、冬の気圧配置に。北日本や本州の日本海側ではわか雨。西または北西の風がやや強い。太平洋側では晴れ。内陸など所々で薄曇り。



**19日(金)広く穏やかな天気**  
本州付近は西から移動性高気圧に覆われてきた。北日本の一部で曇りが降った。その他は晴れて穏やかな一日。西日本の太平洋側では日中の最高気温が15℃を超えたところも。



**4日(木)西から気圧の谷接近**  
本州は広く高気圧に覆われていたが西から南北に連なる気圧の谷が接近。降り出した雨は西日本まで広がってきた。最高気温は全国的に平年並か平年より高くなった。



**5日(金)東海と関東で突風被害**  
寒冷前線が通過し、各地で雷雨や強風。高波。前線南側は気温高く、北陸の一部で20℃を超える。前線通過後は強い寒気が流入し気温下がり。日本海側中心に、西日本でも夜には雪。



**6日(土)西日本では真冬並み**  
西高東低の気圧配置。九州北部から北の日本海側は雨や雪で風が強い。全国的に気温低く、西日本の最高気温は平年より6～10℃低い真冬並。和歌山市や四国・九州各地で初霜。



**7日(日)全国的に寒冷及込む**  
西日本から東日本は移動性高気圧に覆われた。初めてくれた北陸～西日本の日本海側も次第に晴れ。全国的に寒は冷え込み。真冬の所も。北陸・東海は西の各地で初霜や初氷。



**20日(土)前線ゆっくり南下**  
前線が日本海を南下。北海道～東北北部は雨や雪で、秋田県八幡町は86mm/日。東～西日本は高気圧に覆われ、日中晴れて暖か。最高気温は全国的に11月上旬～下旬並。



**21日(日)長崎市 非常に激しい雨**  
前線が北海道の東～九州の西へのびる。前線に近しい長崎市野島町で33.5mm/1hの雨。前線南側の東日本は西は気温高く、最高気温は10月下旬～11月上旬並。関東は風も強い。



**22日(月)宇都宮市 夜初霜**  
本州付近を前線が通過。東～西日本の日本海側や北日本は雨や雪。午前中晴れて最高気温が10月下旬並の所もあった関東・東海でも。夕方に以降は曇りや雨で、気温は急下降。



**23日(火)上空強い寒気が通過**  
上空に寒気を持った小気圧が日本海を東進し、北陸では雨より雪。北日本の日本海側では雪。北陸から山陰までは雨。一方、東日本～北日本の太平洋側では晴れた。



**8日(月)東北～四国は小春日和**  
高気圧の中心は北海道の東海上へ移動。日本には雨から曇りや曇りが流入。東北～甲信～四国では、朝から曇りまで晴れて11月中旬から下旬の気温。曇った九州では真冬並み。



**9日(火)天気全国的に下り坂**  
本州付近は高気圧の勢力が東海上に移り、南進で低気圧が発生し曇りや雨。北海道東部は短かな雨降る。九州の南から四国沖の海上へ進み、太平洋側でも天気下り坂。またこの連日星野の極大降だが、星野は見られず。



**10日(水)晴れて暖か**  
南岸を連れた低気圧は東海上に逃げ、日本付近は西から高気圧に覆われる。日中は全国的に概ね晴れ。最高気温は11月上旬～中旬並。朝、西日本中心に薄曇り発生。交通機関に影響。



**11日(木)暖気のもち寒気**  
前線を伴った低気圧が北日本を東進。気圧は北海道を除き平年を上回る暖か。前線近傍では雪を伴い、福岡市で3mmのヒョウを観測。九州～東北は曇りや雨。北海道は雪やみぞれ。



**24日(水)移動性高気圧压入**  
全国的に移動性高気圧に覆われ日本海側の寒気流入も一段落。西日本を中心に最低気温。最高気温とも真冬並み。天気の変化は午後には気圧の谷の接近で西から雨域が広がる。



**25日(木)寒らしい天気**  
日中、日本海側は低気圧や前線の影響で雨や雪。太平洋側は寒気中心に晴れ。次第に冬の気圧配置に移行。北～東日本山陰に夜遅く降雪。石川南越前町10.8mmのひょう。



**26日(金)冬の気圧配置強まる**  
寒気流入で西日本から北日本の日本海側を中心に風雪が強まる。神戸市海が4時で初雪。また福島県郡山で日降雪量75mmを観測。太平洋側は寒風を中心に寒晴れ。



**27日(土)引き続き冬型**  
冬の気圧配置が続く。北日本は日本海側を中心に雪。北陸～近畿の日本海側も雪や雨。他は概ね晴れ。長崎市や東京都平代田区、伊豆大島、千葉県熊鷹平、千葉県で初氷を観測。



**12日(金)西～東日本 気温上がる**  
北日本中心の冬の気圧配置。東北～北陸で曇りや雨。北海道で曇りや雪となった他は、真冬の高気圧に覆われて概ね晴れ。西～東日本の最高気温は平年並-3～6℃と11月並み。



**13日(土)台風第22号発生**  
北日本では強い冬の気圧配置で雪や雨。東シナ海に低気圧が発生。九州の南から四国沖の海上へ進み、太平洋側でも天気下り坂。またこの連日星野の極大降だが、星野は見られず。



**14日(日)全国的に寒い1日**  
本州の南海上に低気圧が東北東進し西日本の雨は東日本に持った。日本海から吹き付ける風の影響で、日本海側を中心に雪。最高気温は低く全国的に前寒の1日。



**15日(月)放射冷却**  
日本付近は寒気が流れ込み、日本海側の所々で雪や雨。朝は東日本中心に冷え込み。最低気温は長野県南牧村で真冬並の-14.1℃。東京都平代田区、横浜市、千葉市で初霜を観測。



**28日(日)北日本で大しげく**  
北日本中心に強い冬の気圧配置が持続。北日本の海上では20m/s前後の強風で、青森沖では波の高さが7mを越す大しげ。快晴の東京は、最小湿度24%と乾燥。



**29日(月)冬の気圧配置ゆるむ**  
西から気圧の谷が接近し、西日本の気圧の谷が日本の東海上に抜け。冬の気圧配置が強まり寒気流入。夜には山陰～北日本の日本海側で雪。東北の日本海側では風雪が強まる。



**30日(火)再び冬型に**  
日中は太平洋側に穏やかな晴間。気圧の谷が日本の東海上に抜け。冬の気圧配置が強まり寒気流入。夜には山陰～北日本の日本海側で雪。東北の日本海側では風雪が強まる。



**31日(水)冬の気圧配置が強まる**  
日本付近は冬の気圧配置。西日本の日本海側で雨や雪。北陸から北日本では風雪が強くなり所々で吹雪。太平洋側は概ね晴れたが、近畿以西は寒気の影響により所々で曇り。

日々の天気図

No. 84

2009年 1月

- 10日、発達した低気圧の影響で北海道北りも町は、4m/sの瞬間風速。
- 10日、寒気の影響で広く日本海側で雪。兵庫熱帯気圧196mmの日照量。
- 29日～31日、深った寒気や低気圧の影響で太平洋側で大雪。鹿児島県鹿児島市は最大13.5mm、三島市は鹿児島市125.5mmの降雪量を観測。

(気象庁予報部手帳編)



1日(木)熊本市・伊豆大島 初雪
冬型の気圧配置が続き、北～西日本の日本海側は近畿～中国の山沿いを中心に広い範囲で雪や雨。太平洋側は、東日本を中心に乾燥した晴天。熊本市と伊豆大島で初雪を観測。



2日(金)那覇 ヒカンザクラ開花
冬型の気圧配置続き、北海道オホーツク海側から本所の日本海側にかけて雪や雨で風も強い。南西諸島は雨。その他は晴れ。東海以西は季節どおりの冷え込み。三宅島雄山に初開花。



3日(土)春の差し入り一歩一歩
北陸から北日本は引き続き雨や雪だが、冬型の気圧配置が西から徐々に緩み西日本の日本海側は天気回復。暖かさに誘われ愛媛県松山市では昨年より9日早くウメが開花。



16日(金)西～東日本 高気圧圏内
北日本は西よりの強風続き、日本海側を中心に曇りや雪。黄海の高気圧に覆われた西～東日本は、太平洋側で晴れたが、日本海側は気圧の谷の影響で曇りか弱い雨や雪。



17日(土)センター試験初日
北日本は冬型の気圧配置。北日本と本所の日本海側では雪や雨だが次第に晴まる。その他は九州付近の高気圧に覆われ晴れ。朝方は西日本中心に冷え込んだ。



18日(日)列島は気圧の谷の中
南北に連なって気圧の谷が接近。日本海側は前線の接近に伴い雨や雪。長崎県諫早市では1月の記録を更新する28mm/1hの強い雨。太平洋側でも一時的にカラカラ天気解消。



19日(月)全国的に暖か前期
低気圧や前線通過後、冬型の気圧配置強まる。太平洋側の前線は朝まで。和歌山県本宮町で42.5mm/1hの激しい雨。朝の最低気温は、全国で2月中旬～4月下旬並の暖かさ。



4日(日)ニューギニア付近で地震
北日本は冬型の気圧配置。日本海側は雪や雨だが次第にその領域も狭まる。東日本以西では晴れ。西日本は朝冷え込み。太平洋側でニューギニア付近の地震による津波を観測。



5日(月)種やかに寒の入り
日本付近の冬型の気圧配置は次第に強み、北日本の季節風も収まる。北海道や山陰では雨や雪のところがあるが、その他の地方では曇り晴れ。日中の気温は2月下旬～3月下旬並。



6日(火)各地で消防出初め式
北日本では弱いながら冬型の気圧配置で、日本海側を中心に曇りや弱い雨。西日本の日本海側や北陸は曇りや雨。地は曇り晴れ。東日本の太平洋側は乾燥した晴天続く。



7日(水)東日本の乾燥続く
北日本では弱いながら冬型の気圧配置が続き、弱い雪。東日本～北陸は高気圧に緩やかに覆われて晴れ。西日本は弱い気圧の谷が接近中で曇り。雨により弱い雨が降った。



20日(火)大雪
冬型の気圧配置は北日本中心。西日本は高気圧に覆われる。北陸から北の日本海側は雨や雪。西日本は晴れ。朝の気温は全国的に2月下旬～3月下旬並の所多く暖かい大雪。



21日(水)短い周期で天気変化
北日本は日本海側を中心に所々雪。本所付近は初め移動性高気圧圏内。しかし気圧の谷の影響で晴れの範囲は狭い。四国の南海上を高気圧が東進し、西から次第に雨。



22日(木)南岸に弱い気圧の谷
本州南海上を小さな低気圧が通過。別の低気圧が九州の南海上を東北東進。南岸では雨が降った。一方、北日本は北海道の南海上の高気圧に覆われ、曇過ぎ。雨により晴れた。



23日(金)真冬の北海道に雨
本州南岸と日本海を前線を持った低気圧が北東進して列島通過。北海道では最高気温が平年を10℃以上上回り、各地で1月の記録を更新。標高の高い山を除き雪でなく雨。



8日(木)東京でウメ開花
冬型の気圧配置が弱れ西から気圧の谷接近。西日本の太平洋側は弱い雨となり。その他の地方では曇り晴れや曇り。気温は3月並で、東京では昨年より21日早いウメの開花。



9日(金)東京都心 初雪
東日本の南海上を高気圧が東進。関東や東海は日中も気温が低く、冷たい雨や雪。東北北部や北海道では日中晴れるが、夜には雪。温暖前線雨で8ミリのひょう。



10日(土)北日本荒れ模様
奥達中の低気圧が北日本の東海上を北上。北日本や北陸～西日本の日本海側を中心に風雪増まり。北陸～南西諸島では真冬の気圧に。和歌山県海岸と鹿児島市で初雪。



11日(日)神戸市 初氷
日本海北部の低気圧に向かって比較的弱い空気の流れから北海道は最低気温が3～4月並。本州以南は西日本を中心に日中も気温上がらず真冬の寒さ続く。神戸市で初氷を観測。



24日(土)真冬の気温に逆戻り
強い寒気が西日本から一気に流入し、気温急低下。日本海側中心には曇雨で雪となり。九州北部は平地でも積雪。最深積雪は山口市12cm、福岡市6cm。千葉県原宿市、千葉市で初雪。



25日(日)寒気にどっぴり
低気圧が北海道付近を通過し、北日本と北陸～九州の日本海側は雪や雨が降り出し。太平洋側は晴れ。日本列島への時間帯は寒い寒さ。横浜市で初雪。



26日(月)西日本の雪は雨に
引き続き気圧の谷や寒気の影響で日本海側は雪や雨。大陸の高気圧が張り出し、太平洋側は初め晴れたが、上～中層雲の通り道となった西～東日本は時々曇り。



27日(火)日本海側の雪夜止む
寒気の影響で北海道では雪。その他の地方では次第に移動性高気圧に覆われ、太平洋側では晴れ乾燥した状態続く。日本海側でも夜には雨や雪は止んだ。



12日(月)都心に雪あられ
日本海には上空に寒気を作った低気圧があり。福島上空5500メートルには-37.4℃の強い寒気が入った。北陸や四国で最大瞬間風速26m/s以上の強い風が吹き、東京では雪あられ。



13日(火)太平洋側カラカラ天気
上空に寒気を作った低気圧が東北を通過。東北、北陸を中心に雨や雪で海上は大しけ。一方太平洋側はカラカラ天気乾燥状態。26m/s以上の強い風が吹き、東京では雪あられ。



14日(水)つかの間の晴れ
日中一旦目撃し現った日本海側も、低気圧や前線の接近・通過で再び雪が降る。東日本の太平洋側は乾燥した晴天。引き続き強い寒気に覆われ、長野県野沢村は最低気温-20.5℃。



15日(木)北日本中心に荒れ模様
日本海側と北日本は雪と強風の荒れた天気。東～西日本太平洋側は晴れ。北海道苫別で日最大風速22.7m/s、本州は最高気温が上がらず平年より2～5℃低い。



28日(水)広く高気圧に覆われる
日本列島は北日本に中心を持つ高気圧に広く覆われ晴れまたは曇り。九州南部から南西諸島にかけては雨。北海道は特別約-25.6℃の最低気温となるなど寒い朝を迎えた。



29日(木)屋久島 季節外れの大雨
終日曇りや雨の雨雲を除き、近畿～東北は日中曇りから晴れ。最高気温は全国で3月～4月並。九州や四国、中国は気圧の谷の影響で雨。鹿児島県屋久島町小瀬田で74mm/1h。



30日(金)全国的に暖かい朝
西日本の南海上を高気圧が東北東進。雨は西日本で朝降り出し夕方東北まで拡大。鹿児島県南郷市で68mm/1hの非常に強い雨。宮崎県南郷市記録の最低気温15.8℃で8月中並。



31日(土)寒中に大雨
低気圧が発達しながら本州南岸を通過。北海道や東海の一部と九州南部、南西諸島で降れた地は曇りや雨。東北は曇った雪。神ならぬ大雨で、日降水量の1月の記録を更新した所も。



2009年 2月

- ・ 8日、冬型気圧配置が強まり関東気圧帯が34.2m/sの最大瞬間風速。
- ・ 13日～14日、低気圧や前線の影響で高知県高知市128mm、静岡県伊豆市110.0mmの記録的豪雨。
- ・ 20日～21日、発達した低気圧の影響で北海道函館17時41.6m/s、青森県外ヶ崎18時40.9m/sの最大瞬間風速。

(気象庁予報部予報課)



**1日(日)太平洋の沿岸は大時化**  
低気圧は日本の東海上で発達し冬型の気圧配置が強まる。全国的に北または北西の風強く、東北～関東の海上では大しけ。天気は日本海側で曇りや雪または雨、太平洋側は晴れ。



**2日(月)海間山で小噴火**  
北日本の一部で雪が降った他は、広い範囲で移動性高気圧に覆われ晴れや曇り。群馬県と長野県境にある海間山が01時51分頃小規模な噴火。関東東南部でも降灰を観測。



**3日(火)網走 流水初日**  
東シナ海の低気圧が発達。九州で降り出した雨は、西日本一帯に広がる。北陸は前線の影響で雪や雨。積れた東日本太平洋側は、最高気温が12～19℃台。水戸市、前橋市でウメ開花。



**16日(月)強い寒気来襲**  
低気圧が平島近海で発達し、冬型の気圧配置が次第に強まった。北陸～北日本には強い寒気が入って曇りから雪となり、新潟県では所により日降雪量が90cmを超えた。



**17日(火)久しぶりの大雪**  
全国的に強い冬型の気圧配置で北海道と本州の日本海側では雪で曇りや雨。特に山梨県と新潟県は24時間の降雪量が90cmを超える大雪となった。



**18日(水)高知市でウグイス初鳴**  
北海道稚内市上空5500mは-44.1℃。冬型の気圧配置は崩れたが、北日本や北陸は寒気の影響が降り雪や吹雪。新潟県魚沼市入込川で日降雪量53cm。西日本は寒さ知らず。



**19日(木)網走市で流水推岸初日**  
北日本では寒気が残り、日本海側は雪や曇り。東日本は概ね晴れ。兼中低気圧が来て発達。この影響で九州は朝から雨で、度には東海地方まで広がって山深い雪に変わる。



**4日(水)紀伊半島に流水推岸**  
日本付近は次第に移動性高気圧に覆われたが、関東や山陰は高気圧の南縁で曇り。その他は概ね晴れ。立春の今日、日中の気温は2月下旬～3月下旬並。大分県でウグイス初鳴。



**5日(木)西から天気は下り坂**  
三陸沖の高気圧の南縁にある関東で曇った他は、高気圧に覆われておむね晴れ。低気圧や気圧の谷が接近した北日本や北陸、西日本は次第に曇りとなり雨や雪の所も。



**6日(金)西日本では春の光し**  
東日本～北日本を中心の冬型の気圧配置となり、北陸～北日本の日本海側では弱い雪。一方、東日本～西日本では概ね晴れ。特に九州では3月下旬の気温となった所が多かった。



**7日(土)日本海低気圧東進**  
低気圧が日本海を東進し、北日本から北陸にかけては雨。秋田県では竜巻被害。西日本から東日本は南海上の高気圧に覆われ夕刻に南風。最高気温は3月上旬並で暖か。



**20日(金)北日本 暴風雲に**  
低気圧が本州南端を過ぎて三陸沖で発達。北日本は暴風を伴う曇りや雨。西～東日本太平洋側は雨のち晴れ。北陸～山陰は雨のち曇り。午後九州北部～中国地方で黄砂を観測。



**21日(土)東京で黄砂観測**  
低気圧が平島近海で猛烈に発達し、北海道稚内市では41.1m/s、青森県野辺地町では33.7m/sの最大瞬間風速。青森県では100mm以上の豪雨が一部降った。約6万世帯が停電した。



**22日(日)気圧の谷の接近**  
北日本と西日本に前線を伴った低気圧が接近。東海から関東までは晴れて南風が吹き、最高気温が15℃を超えた所もあったが、その他は曇りや所々雨や雪。



**23日(月)室戸岬で激しい雨**  
本州南端を低気圧東進。雨の範囲は西日本から東日本へ移る。高知県室戸岬で44.5mm/1h、北海道や東北北部は晴れ。最高気温は関東以北で平年より低く、西日本は日射量も少な。



**8日(日)強風吹き荒れる**  
寒帯前線通過後、冬～東日本で冬型の気圧配置が強まり、北日本は吹雪。関東北部や東北南部は次第に強い風となり、栃木県那須町で最大瞬間風速34.2m/s。西日本は穏やかな晴れ。



**9日(月)海間山再び噴火**  
北日本は低気圧の影響で所々曇りや雨。高気圧は発達して日本の東海上へ。西日本は曇りから雨に。関東以東は全国的に暖かく2月中旬～3月中旬並。南天来高でヒカンザクラ満開。



**10日(火)京都市 ウメ開花**  
日本海を気圧の谷が南下。午間中を中心北～西日本の日本海側は曇りや雨。太平洋側は概ね晴れて気温上昇し、最高気温は多くの地点で3月中旬下旬並となり、4月上旬並の雨も。



**11日(水)今年初めての黄砂**  
日本付近は気圧の谷の通過と上空の寒気の影響で、北陸地方で曇りや雨。金沢で雪を観測。関東は曇りや雨。近畿から九州にかけて西日本の広い範囲で、今年初めての黄砂を観測。



**24日(火)新潟県出雲崎町震度4**  
本州南海上に前線が停滞。北海道の一部は雪。東北以南では雨や曇り。南信濃は強い南風で最高気温が27℃前後で4月中旬から5月下旬並に。熊本市でモンシロチョウ初見。



**25日(水)本州上空は雲の通り道**  
本州南端の前線上を低気圧が東進。西～東日本は雨で西から次第に止む。朝鮮の南側の済州島は引き続き高気。オホーツク海の低気圧からのびる前線が北日本を通過して曇りや雨。



**26日(木)那覇最高気温2月1位**  
全国的に雲の多い天気。東京では日照無し4日目。前線の活発化により、夜は九州南部、四国や関東南部で雨となった。沖縄は今日も気温高く、最高気温は那覇で2月1位。



**27日(金)ぐずついた天気続く**  
本州の南海上を前線を伴った低気圧が東北東進。北日本の一部で降った他は全国的に曇りや雨で雪が降った所も。日中の気温は関東地方を中心に真冬並みとなった。



**12日(木)春の予感**  
気圧の谷は日本の東海上に抜け北日本の一部で始め雨や雪が残った。その後は広く高気圧に覆われ晴れ。最高気温は広い範囲で4月上旬から中旬並みの暖かさ。



**13日(金)全国各地で「春一番」**  
日本海の低気圧が発達。全国的に暖かな南風が強く吹き込み、気温急上昇。九州、四国などで大雨や暴風。熊本県阿蘇村で最大瞬間風速35.8m/s。



**14日(土)関東・東海で夏目**  
発達中の低気圧が北海道を通過。この影響で北日本は大規模な天気。本州太平洋側は概ね晴れ。全国的に気温が高く、静岡県静岡市清水区の高気温26.8℃は7月上旬並の暑さ。



**15日(日)山陰～福井で黄砂観測**  
気圧の谷が通過し、北日本～北陸は曇りや雨。引き続き全国的に気温高く、最高気温は3～4月並。中でも八丈島の21.0℃は5月上旬並で、2月の観測史上1位を更新。



**28日(土)寒さ、曇りから解放**  
移動性高気圧に覆われ、西日本太平洋側と南信濃も曇りや雨に変わる。東京は、6日ぶりに直射日光が照りさかす。連日最高の南信濃は、最高気温が20～24℃台に落ちる。

- 13日～15日、低気圧の影響で北海道入りも増(30.3m/s)、鳥取県石見空港(31.4m/s)の最大瞬間風速。
- 19日～20日、東北以南日本海側を中心に顕著な降雪。
- 22日、筑波山と前線の影響で鹿児島県は町田代77.5mm/1h、静岡市70mm/1h、札幌市61mm/1h。

(気象庁予報部予報課)



**1日(日)関東南部 寒い一日**  
本州は曇り続いたが、北海道の一部は気圧の谷の影響で雪。関東と関西諸島では前線や低気圧の影響で曇りや雨。関東南部では寒く、千葉県勝浦市の最高気温7.2℃は真冬並み。



**2日(月)冬型の気圧配置**  
北～西日本は日本海側を中心に曇りや雨。太平洋側は晴れたが、南西諸島は高気圧の縁に浴びた東風の影響で曇りや雨。九州は気圧の谷が接近し次第に曇り。



**3日(火)真～西日本は雪や雨**  
低気圧をきむ気圧の谷の影響で西日本では雪や雨。関東でも午後から雪にかけ曇りや雨。高気圧に覆われた東北以北では晴れ。気温は低く、関東の最高気温は真冬並み。



**16日(月)近畿～九州北部で黄砂**  
北日本は上空に寒気を伴った気圧の谷が通過し、曇りや雨。北陸は午後から曇りや雨。東日本以西では高気圧に覆われ晴れ。高松市、熊本市、宮崎市でサクラ開花。



**17日(火)東北～九州で広く黄砂**  
上空に寒気を伴った気圧の谷が通過。北日本～北陸は曇りや雨で、雷雨となった所も。未明に石川飛騨海岸で直径10mmのひょうを記録。松山市と大分市でサクラ開花。



**18日(水)気温上昇**  
日本の東海上の高気圧に覆われ、北海道を除き曇り晴れ。最高気温は6月下旬並みの所も。東北以南は広く黄砂を記録。岐阜市、山口県下関市、長崎県長崎市でサクラ開花。



**19日(木)初夏の陽気**  
日本列島は東海上の高気圧に覆われ北日本と西日本の一部を除き初夏を思わせる陽気。静岡市、名古屋市、京都市、佐賀市、鹿児島市と広い範囲で相次いでサクラ開花。



**4日(水)天気回復の兆し**  
本州の南岸を低気圧が東北東進。東日本は引き続き曇りや雨のぐずついた天気だが、西日本から天気次第に回復。気温も上がり、中国では最高気温が前日より1～2℃高くなった。



**5日(木)つかの間の春の日差し**  
移動性高気圧に覆われ朝のうちは全国的に広く晴れるが、東シナ海の低気圧が接近し、九州は曇りから。夜には中国、四国で雨。沖縄は終日雨で、うるま市宮城島で48.5mm/1h。



**6日(金)全国的に雨**  
日本海と本州南岸を前線伴った低気圧が北東進。全国的に雨。鹿児島県沖永良部で43mm/1hの激しい雨。また北海道では最高の所も。斜交軸手番号で日最大瞬間風速32.5m/s。



**7日(土)北日本大雪**  
低気圧が発達して北日本は大雪。日本海側を中心に曇りや雪。西日本と東海、関東は西から高気圧が張り出し晴れ。北陸は曇りや雨。未明に石川飛騨海岸で直径8mmのひょう。



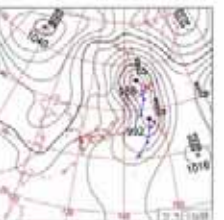
**20日(金)春分の日**  
日本付近を寒冷前線が通過。東日本中心に午前中雨。西日本は朝から。東日本も午後は晴れて気温上昇。鹿児島市の最高気温27.8℃は4月下旬並。甲府市、高松市でサクラ開花。



**21日(土)サクラ 関東に**  
全国的に移動性高気圧に覆われる。北日本の一部で雪の所を除き徐々に晴れる。日中は4月上旬～5月中旬並の暖かさで、東京都、和歌山市、岡山市、高松市でサクラ開花。



**22日(日)春の風**  
低気圧が発達しながら日本海を北東進。東～西日本は南風が強。四国や九州南部は暖かく曇った空気が流入し雨や曇雨。鹿児島県は薩川町田代77.5mm/1hなど非常に激しい雨も。



**23日(月)寒気南下**  
低気圧がオホーツク海と日本の東で発達。北日本中心に突いた天気となり。最大瞬間風速が30m/sを超えた所も。成田空港では、朝、貨物飛行機が着陸に失敗。欠上した。



**6日(日)帯状高気圧**  
東西に帯状に連なった高気圧が日本海から東北を覆い、北日本を中心に覆われ晴れ。一方、南西諸島や関東では前線や低気圧の影響で曇りや雨。



**9日(月)気圧の谷の接近**  
本州の南海上を前線伴った低気圧が北東進。北日本を中心に始め晴れたが日本海側から低気圧が接近し天気下り。日本列島は南東にのびる気圧の谷に入った。



**10日(火)日中は春の陽気**  
日本付近は冬型の気圧配置に。日中は北海道や日本海側の地域は曇りや雨や雪だが、その外は晴れて最高気温は全国的に下旬～4月上旬並。大分市、長崎県五島市で黄砂観測。



**11日(水)北日本は冬の気候**  
北日本や北陸は冬型の気圧配置で曇りや雨。最高気温は2月下旬～3月上旬並と冷え込む。関東以南の太平洋側は晴れや曇り。甲府市と山口県下関市でウグイスの初鳴。



**24日(火)冬と春の共存**  
北日本は寒気の流入で雨や雪だが、東～西日本は移動性高気圧に覆われ晴れ曇りや曇りの穏やかな天気。大阪府では平年より6日早くサクラ開花。



**25日(水)本州は冬の空**  
日本付近には低気圧。北日本は曇り。東～西日本は寒気の影響で日中も気温低く、東北太平洋側や関東、中国の最高気温は真冬の所も。埼玉県熊谷市、京都府舞鶴市でサクラ開花。



**26日(木)東北以南は寒の戻り**  
寒気の流入で、西日本の最低気温は2月上旬並に冷え込む。北日本の一部で雪。北陸～近畿の日本海側は雨。関東や西日本は曇りや曇り。サクラの開花は甲府市まで北上。



**27日(金)水戸市 サクラ開花**  
北海道付近に低気圧が停滞。引き続き寒気が流入し日本海側は曇りや雨。午後低気圧の谷が通過。天気の状態が不安定となり、太平洋側も所々にわか雨。



**12日(木)移動性高気圧圏内**  
日本海の移動性高気圧に覆われ、北日本の日本海側を除いて全国的に曇り晴れ。北～東日本ははじめ北よりの強い風が吹く。西日本は気圧の谷が接近し、次第に曇りが広がる。



**13日(金)福岡でサクラ開花**  
低気圧が発達しながら日本海を北東に進んだ。この低気圧に向かって、南から暖かい空気が流入。福岡では4月上旬並みの気温となり、今年一番早いサクラの開花となった。



**14日(土)列島大雪**  
前線伴った低気圧が発達しながら日本海からオホーツク海へ。寒冷前線が本州付近を縦断し、各地で嵐風。島根県では豪雨の被害。広い範囲で交通機関に遅れや停りが出た。



**15日(日)関東以西は行高日和**  
北日本は暴風や高波の影響が続き、日本海側では次第に曇る。東～西日本は高気圧に覆われ、穏やかな日差しに恵まれる。北海道入りも雨で最大瞬間風速36.3m/s。



**28日(土)ぐずついた天気**  
日本付近は気圧の谷や東シナ海をきむ低気圧の影響で、中～東海を除き曇りが多く、東北、九州、沖縄で雨。気温は全般に平年より低めながら、産卵でサクラ開花。



**29日(日)春は一進一退**  
北日本は寒気の通り道で引き続き曇りや雪。西日本も日本の南海上を東進する低気圧の影響で九州～南西諸島は曇りや雨。最高気温は上から全的に平年よりやや低め。



**30日(月)本州は種々な晴れ**  
日本付近は、大粒の高気圧に覆われ、本州中心に晴れ間が広がる。九州南部は曇りや雨で、最高気温は平年より6～7℃低く真冬並。前橋市、富山県でサクラ開花。



**31日(火)甲府市でサクラ満開**  
気圧の谷の影響で北海道は曇りや雪。東北の一部で雨。その他は高気圧に覆われ曇り晴れ。高気圧の縁にあたる九州南部で雨。関東太平洋側～四国で曇り。